

## 令和5年度 西条小学校第3回学校運営協議会

- 1 日 時 令和6年2月15日(木)  
午前9時30～11時50分
- 2 場 所 鴨川市立西条小学校 校長室
- 3 参加委員 会長 庄司 利男、副会長 濱田 由紀子、小原 好一、刈込 高志  
高梨 美佐子、濱崎 順治、塗谷 和男(7名)  
傍観者 生涯学習課：長幡 みゆき
- 4 報告事項
  - (1) 後期の学校評価アンケートについて
    - ・児童及び保護者、教職員
  - (2) 3学期の教育活動について
    - ①主な行事の取り組みについて ②学習指導について ③生徒指導について
    - ④PTA行事における取組について ⑤スポーツ団体長会議について
  - (3) 今後に向けて
    - ①学習指導における基礎・基本の定着及び児童の思考力・判断力・表現力の育成及び主体的で対話的で深い学びの錬成
    - ②体力向上への取り組み ③生徒指導への取り組み ④安全への指導
    - ⑤次年度へ向けた取り組み：各推進プロジェクトの機能を生かした取り組み
  - (4) 授業参観
    - ・1年(算数) ・2年(国語) ・3年(算数) ・4年(外国語)
    - ・5年(学活) ・6年(国語)
- 5 協議事項
  - (1) 報告内容について
    - ①後期のアンケートの結果としては、各項目おおむね高い評価となっている。評価が下がっている項目に着目して考察をしているが、評価の低い内容に対しても目を向けてほしい。
    - ②アンケート結果の内容から、家庭でもしっかりと子供に対して指導してもらうように声をかけていくべきである。学校の指導だけでは行き届かないところもある。家庭での指導についても協力を依頼していく必要があるのではないかと。
  - (2) 校舎内外の危険箇所等について
    - ①爆裂が修繕されていた。これにより子供たちの安心・安全が確保されたが、施設が老朽化しているため、今後も注意深く点検していく必要がある。
    - ②雨漏り箇所の修繕についてははまだ進展が見られないが、雨漏りがしている箇所から腐食が進むことを考えると、目視できない部分から爆裂によりコンクリートの落下も考えられる。定期的なチェックを行う必要がある。
    - ③学校より  
屋上に設置している時計が故障して時間が合っていない。本校では、時間の区切りを全てチャイムで知らせていないため、時計で時間を把握するためには校庭のどこからでも見える大きな文字盤の時計が欠かせない。修繕には多額の費用がかかるため、購入など別の対応が必要となる。現在は、室内用の時計を使用して対応しているが、校庭の隅からでは文字盤が見えにくい点や風雨に長く耐え得るものではないため、直ぐに故障してしまうことが考えられる。校庭のどこから見ても見える大きな文字盤の時計は高価であるため、会社などどこかで使用していた中古の時計でも構わないので協力をしてほしい。

- ④栗斗・千葉鴨川線に繋がる新しい道路が開通した。車の動線が変わり、通学路を横断する車も今後増えることが予想される。また、大里・花房間の道路も3月頃に開通することが予定されるため、さらに危険な状況が発生することが予見される。特に、6年生は中学に進学することを踏まえ、交通安全指導を行っておく必要があると思う。(2月22日に警察署と連携し交通安全教室を開催する予定)
- ⑤県道天津小湊田原線の歩道の草が、児童の登校の妨げとなっている。学校運営委員として草を刈る事や泥を除去しているが、単独では限界がある。今年度は、三山商店の社員の方が協力していただいたことにより、きれいに撤去することができた。
- 委員（PTA会長）より  
・来年度は、ボランティアを広く募り、校舎内外の環境整備や通学路の環境整備を行っていく予定である。

(3) 今年度振り返って各委員より

- ①PTA会長より：今年度、コロナ禍で中止していた行事を以前実施していた内容と同様に実施した。PTA本部役員の願いとしては、「子供たちの笑顔のために」を念頭にPTA行事を行ってきた。それぞれの行事について課題があったが、改善できる範囲の内容であったことから、今年度の本部役員の意見として次年度も引き継いでいきたい。
- ②育成会会長より：育成会もPTA同様に主催する行事を、コロナ禍以前に実施していたように開催した。子供たちからの意見としては、とても好評であった。次年度も継続していきたい。特に地域の方や高齢者の方々が、やりがいをもって取り組んでくれた。西条地区の各団体に声をかけると、快く引き受けていただいたことで、スムーズに開催することができた。地域と学校を繋ぐ役割を担えたことが成果としてあった。
- ③会長より：PTA及び育成会が地域と協力して子供たちのために働きかけたことにより、地域・学校・家庭をつなぐことができた。また、個人的にボランティアとして安全に配慮しながら、毎朝子どもたちと一緒に登校している。子供たちの元気なあいさつに力をもらっている。今後も力の続く限り続けていこうと思っている。学校運営協議会のこの場で、学校との情報交換やPTAや育成会との共通理解を図ることにより、委員それぞれが自主的に各団体へ働きかけたことで、会としての意義があったと思う。さらに、学校の課題を地域の課題としてとらえ、学校と地域を繋ぎ、未来ある子供たちのために、努力を惜しまず、地域の宝として育てていきたい。

(4) その他

校長より：来年度の西条小学校運営協議会の委員を1～2名ほど増やしていきたい。次年度以降も様々な面において、ご協力を依頼しなければならない。地域の方々にこの活動を広く認知していただくためにも、たくさんの方に係わっていただき、ご意見をもらいたい。増やすことについて、承知していただきたい。

事務長より：学校徴収金等に対する会計監査の実施について

学校における徴収金等に関する会計内容は、これまでは管理職が監査をしてきたが、他市による事務職員の不正会計が発覚し問題となったことから、広くたくさんの方々に監査をしていただきたくご協力をお願いしたい。今年度は、PTAの会計監査時に、学校徴収金についても監査を行ってもらう予定です。